

水より安い、ガソリン



外販課 山島

皆さんが利用される自動販売機で、天然水は1本150円（0.5リットル）、缶コーヒは130円（0.2リットル）。一方、ガソリンは約120円です。

リットル換算でガソリンと比較すると、天然水は300円（2.5倍）、缶コーヒは650円（5.4倍）と、いかにガソリンが安いかがご理解いただければ幸いです。

今回は、この安いガソリンについて調べてみました。

ガソリンはどこからやってくる？

資源エネルギー庁の「石油統計」による2013年の輸入元ランキングです。

【1位】サウジアラビア 【2位】アラブ首長国連邦 【3位】カタール 【4位】クウェート 【5位】ロシア

供給元は中東諸国が多く、ここに記載されていない国を含め、日本の総輸入量の内、81.3%が中東諸国から輸入されているそうです。

150日！原油の旅路

サウジ国営石油からFOB（積地渡し）条件でサウジ原油を購入しています。長期用船しているVLCC（Very Large Crude oil Carrier）と呼ばれる超大型タンカーでサウジから日本へ運ぶので海上運賃がかかります。また、タンカー沈没等のリスクがあるので、貨物保険をかけているため保険料がかかります。20日ほどの航海の後、日本の製油所にタンカーが到着し、荷揚げした後に原油タンクに入ります。

原油タンクで在庫にされる期間は通常60日程度です。つまり、日本に到着後、60日くらい経ってから精製されます。そのため精製費がかかります。生産されたガソリンは製品タンクで在庫にされます。しばらくして地方の油槽所に運搬されます。その後油槽所から小型タンクローリーでガソリンスタンドに運搬されます。それぞれ運送費と保険料がかかります。

このような経過を経て、ドライバーが運転してきた車に給油されるという訳ですが、ガソリンスタンドの運営コストもかかります。ざっと計算して、生産地を離れてから給油されるまで150日くらいが経っています。サウジ国営石油に支払うのは、通常船積み後30日目なので、約120日間の資金負担に関わる金利もコストになります。当然のことですが、製油所、油槽所などの設備投資の償却コストも織り込まなければなりません。あちこちで各種各様のコストがかかっているようです。

日本のガソリンの税金の割合

日本のガソリンには多くの税金が賦課せられています。まず、輸入原油に2,540円／キロリットルの石油石炭税がかかります。さらにガソリン税が53,800円／キロリットル。そして店頭で8%の消費税がかかります。120円／リットルのガソリン価格から逆算すると、次のようになります。

a. ガソリン価格：120円／リットル b. 消費税：8.8円／リットル
c. ガソリン税：53.8円／リットル d. 石油石炭税：2.54円／リットル
e. 税抜価格：54.86円／リットル……a-(b+c+d)

この、54.86円／リットルは87.23ドル／バレルになります。すなわち、30ドル／バレルの生産地での原油が、輸送費、精製費および販売管理費等に利潤が加算され、税抜きで87.23ドル／バレルになります。（消費税は既に賦課されているガソリン税および石油石炭税にもかかるので、Tax on Taxになっている）

これらを取りまとめると、リットル当たり120円のガソリンには54.86円（約46%）の税金が賦課されており、生産地での原油コストは33.66円（約28%）なので、輸送費、精製費、販売管理費と利潤が31.48円（約26%）となります。

参考：http://president.jp/articles/-/13788?page=4

脳の特殊能力

総務課 西村

こんにちは！ アポロ新聞編集部卒業生の西村です。編集という枠外から読む新聞って新鮮っ！ このスペースを頂ける事を光栄に思います。

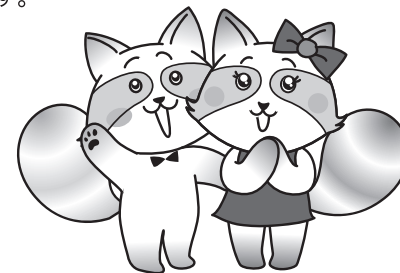
今回は編集部での経験で1番苦労した校正作業。「誤字脱字の見落とし」について語りたいと思います。

まずはこちらの文章を読んでください。

みさなん、まだまださむいですが、おんげきですか。かぜなどひていないいいですか。

平仮名ばかりで読みにくいですが「寒いけどお元気ですか」と時候の挨拶のようです。

そうでしょうか？ 今一度、よく読んでみてください。



「おんげきですか。」おんげき?? お元気じゃない？

よく読めば文章どころか日本語としても成立していない文章ですが、

「皆さん、まだまだ寒いですが、お元気ですか。風邪など引いていないですか。」と

読めた人が大半ではないかと思います。

読みにくいのは平仮名ばかりで漢字がないからだと思った方も多いのでは？

それではこの文章を読んでみましょう。

この ぶんしょう は いりぎす のケブンツリジ だがいく の けゆきんう の けっか にんげは もじ を にしんき する とき その さしいよ と さいご の もさじえ あいてつれば じばんゆん は めくちちゃや でも ちんやと よめる という けゆきんう に もづいとて わざと もじの じんばゆん を いかれえて あまりす。

読めましたか？ 文章に記載されているように、ケンブリッジ大学でこのような研究がされているのかは定かではありませんが、日本語以外の語学でも同じ事が言えるそうです。

この文章は意図して単語の中間部分のみの文字を入れ替えてあるのです。それにも関わらず、確かにすんなり読めちゃえますよね。

つまり、人間は単語を1文字1文字読んで認識するのではなく、ある程度かいつまんで脳内で文章を組み立てているのではないかと推測されます。記述された文章はあくまで、パーツ・素材のようなもので、それを個人個人が脳内で文章を作るのです。

ちなみにこれを漢字に直すと読めなくなります。

こんにちは、さ皆さんお気元ですか？ は私気元です。

多くの日本人は、誤字として認識します。これは漢字がその前後の文脈によって読み方が変わるため、脳内に入る前に、一度整理するからだと思われます。それ以前に、『気元』などと言う日本語は存在しないわ！とストッパーも入るため、脳がかいつまんで理解するのを諦めます。

人間の脳には「文字が入れ替わっていても意味を理解できる」というファジーで便利な特殊機能が備わっていて、「意味が理解できる」からこそその誤りに気づかない……ということが、たま〜に（けっこう頻繁に？）起こるんです。

アポロ新聞紙面で誤字脱字を見つける度に、「どうして気が付かなかったんだろ。バカだなあ」と思っていた私ですが、こんな事を知ると人の脳ってすごい！ 私も素晴らしいっ！と感心してしまいます（笑）。

印刷物やアポロ新聞に誤字脱字があっても仕方ありません。それは想像力に満ちた人間の脳が起こすミラクルです。むしろ、奇跡を発見したあなたが素晴らしいっ！という気持ちでご愛読お願いしますね♪

ん?? 誤字脱字を正当化している（笑）？

参照 http://ameblo.jp/hugjapan/entry-11137684798.html